

2020年6月23日

**インターナショナル SOS 独自調査結果 (2020年5月実施)  
「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響下における事業継続、職場復帰について」**

以下は、全世界での調査結果と日本独自で実施した調査結果のデータです。

**調査結果 1 : 事業への COVID-19 の影響を軽減する上で、パンデミック前に作成されたパンデミック計画と手順は、どの位効果的だったか**

	グローバル	日本
効果的	33%	29%
やや効果的	22%	32%
パンデミック計画と手順はない	20%	20%
非常に効果的	18%	10%
効果がない	2%	4%

**調査結果 2 : COVID-19 感染拡大の中、事業継続に影響を与えた項目**

	グローバル	日本
国の封鎖措置	82%	76%
国境管理	56%	46%
不十分な在宅勤務の基盤	32%	57%
正確でタイムリーな情報の欠如	17%	30%
メンタルヘルスの問題	16%	16%
堅牢な事業継続計画とプロトコルの欠如	14%	16%
リスクに関する従業員教育の欠如	10%	18%
セキュリティ/ロジスティクスに関するアドバイスがない	8%	12%
健康に関するアドバイスがない	7%	9%
二次的な健康問題は誰も対応していない	5%	11%
病気休暇	4%	7%

**調査結果 3 : 今後 1 年間事業継続をしていく上で、大きな影響を与えると思われる懸念事項**

	グローバル	日本
COVID-19 の第 2 波の可能性	73%	83%
国の封鎖措置	67%	66%
国境の制限	57%	43%
メンタルヘルスの問題	22%	27%
不十分な在宅勤務の基盤	20%	33%
正確でタイムリーな情報の欠如	17%	26%
堅牢な事業継続計画とプロトコルの欠如	14%	18%
組織全体の管理の欠如	12%	19%
二次的な健康問題は誰も対応していない	10%	5%
リスクに関する従業員教育の欠如	10%	15%
セキュリティ/ロジスティクスに関するアドバイスがない	8%	11%
健康に関するアドバイスがない	7%	9%
病気休暇	7%	7%

#### 調査結果 4 : 職場復帰に向けての運用検討項目

	グローバル	日本
事業継続計画およびプロトコルの改訂	60%	44%
従業員に対する現場でのサポート	59%	47%
COVID-19 のコンプライアンス監視ツール	56%	10%
業務適正を踏まえた健康診断への投資	50%	25%
メンタルヘルス面のサポート強化	44%	30%
現場での脅威に対する監視ツール	36%	15%
職場復帰/業務再開へのリスクを評価するための分析ツール	35%	24%
従業員向けの遠隔医療サービスへの投資	25%	19%
従業員のヘルスケアへの投資拡大	23%	16%

<sup>i</sup> 2020年5月に、従業員の健康、安全、セキュリティ、福利を担当する全世界の企業の責任者 1,000人超を対象に、新型コロナウイルス感染症(以下 COVID-19)の影響下における事業継続、職場復帰についての独自調査を実施いたしました。